

はつやま ししまい 初山の獅子舞



宮前区初山2-9-1 初山会館内
毎年10月の第1日曜日に開催
URL: <https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000000990.html>

▶初山獅子舞保存会の矢澤博孝さん、小金井睦雄さんにお聞きしました

ししまいのつのがいろいろなかたちがあつておもしろかったです。まるい玉のような形や、角がくるくるとまわっているのがありました。剣の形がおのつばい形をしていたのびっくりしました。(ゆうせい)

ししには髪の毛がありますが、髪の色には決まりはないそうです。ししをかぶって踊るのは5年生から中学3年生までの男子です。頭は軽いですが、1時間も踊ると夢中であせがでちゃうと教えてもらいました。(あらた)

初山のししまいは江戸時代の初きからありました。男のけんじしと、まきしが、女(め)ししを取り合います。けんかをしますか、仲の良いけんかです。ししの練習は夜7時~9時までです。(さえ)



お祭り当日の舞い



お面を見せてもらう



練習風景

初山のししまいは、はっきりといつからはじまったかはわかりませんが、300年以上前から続いています。毎年15しゃくの土ひょうをつくり、そこでししまいをひろうします。戦争の時にやりたくてもやれなかった時がありました。お話を聞いた小金井さんは、ずっと平和にししまいを続けてほしいとお話をしていました。(りっか)

ししまいのれんしゅうは夜にします。れんしゅうのあとにははんせい会をします。むかしはおどる人は長男でしたが、今は長男じゃなくてもおどることがあります。ししまいをやるときの人は1人だと2人だちがあります。初山のししまいは1人だちです。ししまいがすくすくしてました。(しおり)

<https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



みずさわもりんど かい 水沢森人の会



菅生緑地西地区
宮前区水沢1丁目3
URL: <https://sites.google.com/view/mizusawamorindo/>

▶水沢森人の会の水野憲一さん、現代表の本郷一雄さんにお聞きしました

水沢のりょく地はみどりがいっぱいです。カブト虫がいたり、ブラックベリがあたりします。土がふわふわしていました。歩いていると畑もあり、野さいがそだてられる森だと思いました。ボランティアのみなさんがたくさんいて、里山をふつつつさせています。里山が復活してきたら、周りに家が増えてきたそうです。(さえ)

水沢の森では22年間、水沢もりんどの会が活動しています。クワガタムシやセミがたくさんいます。家がいっぱいできたので、動物がにげこられるよくな場所になっているそうです。自由に虫をとったりできるので、いろいろな小学生が来ます。子どもも楽しく遊べる森です。(あらた)

水沢の森は水がわきています。水をさわってみたら、アイスに手をつつかんだみたいな気がしました。水がでているところなので、それをもっと増やそうと思って木をたくさんうえました。広くて木がたくさんある森には、キジバトやハシボソガラスなどの野鳥が鳴いています。森は鳥や虫のひなん場にもなっています。チョウは35種類いるそうです。(りっか)

しぜんをまもっている活動をしている人が多いので、木が多くて緑が多いです。いろいろな虫もたくさんいます。おひやくしようさんが野さいを育てていて、それを引きついでできたので、野さいもそだちます。(しおり)



自然がいっぱい



平瀬川の源流



せせらぎがありました

取材：2022年7月

<https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>

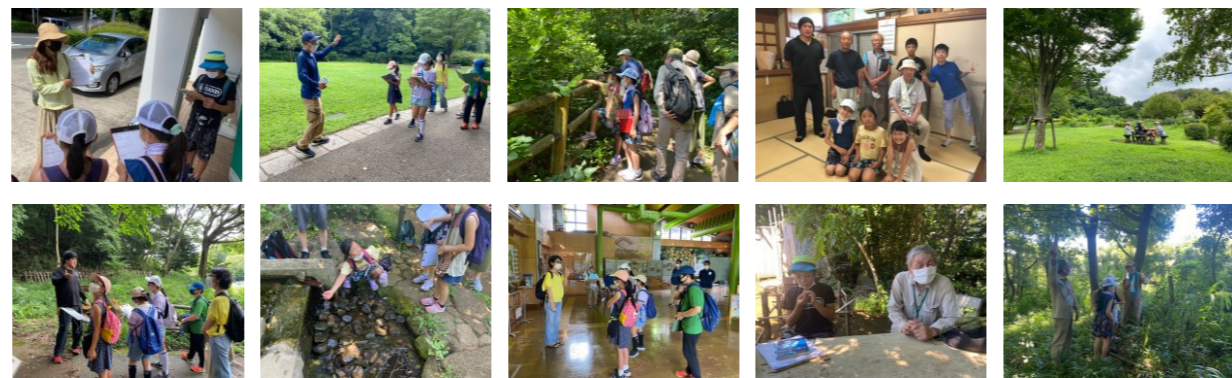


宮前こどもしんぶんとは

宮前区のことをもっと知ってほしい！好きになってほしいと、子どもの目線で宮前区の自然や歴史などについて取材しています。新聞を手にとり、まち歩きを楽しんでください！



取材の様子



平瀬川流域まちづくり協議会 松井隆一さんよりメッセージ

「一人でできることは限られているけれど、それでも自分の興味や夢を持って、それに注ぎこめるのが理想だね。地元を好きになって前向きになれる人がたくさん増えてほしい」



平瀬川とは

平瀬川は、水沢に源を発し、丘陵地の谷あいを通り、高津区二子から多摩川に流れ込んでいます。昔から田んぼや生活用水として地域を潤してきました。地域住民の意向を採り入れた多自然型親水護岸として整備され、「平瀬川流域まちづくり協議会」が清掃や自然環境の保護、流域の小学校と連携し環境学習活動などに取り組んでいます。



平瀬川なぞ解きウォークラリー

LINEを使ってなぞ解きしながら、平瀬川沿いの自然や歴史を感じることでできるイベント。いつでも参加オッケー！家族でなぞ解きに挑戦してみませんか？

【参加方法はLINEから！】参加費無料

※通信料は参加者負担となります。
LINEアプリが使える上で、インターネット接続ができるスマホやタブレットが必要です。

ヒントを使ってなぞ解きに挑戦！
謎が解けない時には、ヒントキーワードをLINEに入力して送信しよう！

宮前区を楽しく知ろう！

公式LINE: <https://lin.ee/6ub9T>



宮前こどもしんぶん

2022年12月発行
ファミリーマイルプロジェクト
宮前区役所
宮前あそび実行委員会
協力:じもたんkids
問合せ: miyamae.asobi@gmail.com
HP: <https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>

令和4年度
宮前区市民提案型総合情報発信事業



ホームページ



ひがしたかね しんりんこうえん 東高根森林公園



宮前区神木本町2丁目10-1
URL: <https://higashitakane.com/>
ひがしたかねパーク大作戦：11月23日(勤労感謝の日)

▶東高根森林公園の杉山卓也さん、水川啓伍さんにお聞きしました

すぎ山さんは、公園の木などをかんだりするリーダーで、虫にとってもくわしいです。今、コスモスを植える準備をしており、10月にボランティアの人がコスモスを植えてくれるそうです。水川さんはイベントをやるリーダーでとてもしんせつでした。(かれん)

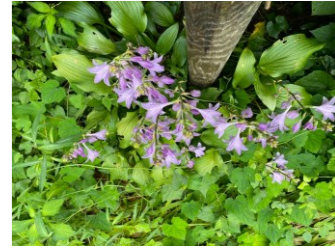
びっくりしたことは、たくさんの種類の虫、植物を見ることができたということです。クロノマチョウというめずらしいチョウもいました。チョウは、神奈川県に120種くらいいるのですが、50種くらいはこの公園にいるそうです。(ももか)

東高根森林公園は、木や植物や動物がたくさんいて、自然があふれています。クワガタ、ギンヤンマ、クロノマチョウなどがいるそうです。田んぼにはザリガニがいて、つりをたのしめます。モツゴもいるそうです。でも、生き物にエサはあげてはいけません。(りゅうた)

けやき広場がすごく広くてびっくりしました。そして虫がいっぱいいました。バッタやチョウが多いそうです。ヨシ原にはクロノマチョウというめずらしいチョウが来て、ヨシの葉っぱを食べるそうです。「出会いの広場」は令和にできたそうです。今、コスモスを植える準備をしているそうです。(なのは)



公園の入口にて



いろいろな植物があります



湿生植物園



ザリガニは釣ったらポストへ ☆冬季はお休み

取材：2022年8月

<https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



しらはた はちまん だいじん 白幡八幡大神



宮前区平4丁目6-1
URL: <http://www.shira80000.com/>
9月第3日曜日 ねぎまい

▶白幡八幡大神の小泉良子さんにお聞きしました

白幡八幡大神は、(土橋神社、菅生神社など)9社の神主をしているそうです。神社は神様に感謝の気持ちや報告をする場所だそうで、白幡八幡大神には、すわっている神様と立っている神様がまつってあるそうです。お寺と神社のちがいの話を、小泉さんは「宗教がちがうの。神社は神様にまつって、お寺は仏様にまつっているところよ」と教えてくれました。(なのは)

白はたはちまん大神は、かまくら時代に作られて800年のれきしがあるそうです。この神社には、ねぎまいというまいがあります。徳川家康がいくさに勝つことをいってまわせたことがはじまりだそうです。(りゅうた)

おもしろいと思ったことは、かみさまはきれいで、人間がすきなものがすきだというお話です。だから、神主さんはそうじをしっかりと、いつもきれいにしているそうです。「神主の一日はそうじにはじまって、そうじでおわる」と言われているそうです。神社は広くてゆったりしたところでした。(かれん)

白はた八まん大神は、徳川家康と関係がある神楽があり、それが800年もつづいているということにびっくりしました。800年前のお面もありました。つるがおか八幡宮に(神様の魂を)わけてもらった神社で、勝利や安産の神様がまつられています。今の神主さんは26代目です。(ももか)



大正時代の様子



おみくじ



取材後はお参りもしました

取材：2022年8月

<https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



とんもり谷戸

宮前区初山1丁目19-1
URL: <https://sites.google.com/view/216-tonmoriyato/>

飛森谷戸の自然を守る会会長の高木一弘さん、矢澤舜さんにお聞きしました

おもしろかったのは、3年前から、切った木を使って「原木しいたけ」を作り始めたというお話です。とんもり谷戸では、5~6月中じゅんの8時くらいに、ホタルが見れるそうです。田んぼもあって、田うえやいねかりをするそうです。(かれん)

とんもり谷戸は、自然がたくさんありました。やざわさんが20年前に植えたどんぐりの木があったのがびっくりしました。どんぐりの木は、しよくじゅした後、時々木を切ってあまり育っていない木が育つようにしてあげたりするそうです。(ももか)

とんもり谷戸で印象に残っていることは、どんぐりの木がたくさんあったことです。やざわさんのお話で印象に残っているのはほたるの話です。5~6月中旬の日は沈んだ8時頃、ホタルがたくさんとんでいるそうです。畑もあって、夏は、とうもろこし畑で迷路をしたり、ながしろうめんをしたりするそうです。(なのは)

とんもり谷戸は、どんぐりの木やいろんな畑がありました。木は、ていきてきに切ったり、下の草をかたたりしているそうです。今年は「ならがれ病」という病気がはやって、かれた木もあったそうです。やざわさんが20年前に土にうめたどんぐりは、大きな木になっていました。(りゅうた)



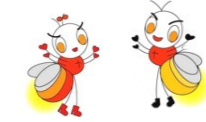
水車を発見



自然を守る活動をしています



6月にはホタルを見ることができます



取材：2022年7月 <https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



閻魔堂

初山十王堂 (閻魔堂・えんまどう)
宮前区初山2-9-1 初山会館内
<https://goo.gl/maps/PVJZ6FwGFragoRAD8>

初山十王堂世話人代表の矢澤舜さんにお聞きしました

閻魔堂は地元の方々が長い間守っているそうです。地いきの人がきふをして閻魔様をきれいにぬりなおしました。閻魔様はとても立派でした。今後、閻魔様をもっとしてほしいそうです。(りっか)

しょうわ43年に火事になったけど、イチョウの木がまもってくれた。イチョウの木がなくなったら、火事の火がもえうつつでなくなっていたんじゃないかなと思った。なくならなくてよかったね。(ゆうせい)

初山のえんま大王は、おもっていたよりも大きくてびっくりしました。毎年8月16日だけとびらがあき、見ることができます。なぜ8月16日かというと、その日はじごくのかまびらきの日だからです。(さえ)

初山十王堂の閻魔様をみせてもらった。昭和43年に火事があり、家は全焼したが、いちょうの木で閻魔堂が守られた。仏像の閻魔様はあまりこわくなかったが、迫力があつた。閻魔様の前には十王という十人の王がいて、さいぼんのしんぼんをしている。(あらた)

えんまさまは高さ86.0cmです。江戸時代に木で作られました。木でできていることにおどろきました。十王は岩でできているそうです。(しおり)



イチョウの木に守られている



手前が十王、奥が閻魔様



閻魔様 育参り

取材：2022年7月 <https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



ひらせがわぞ

平瀬川沿い

おさんぽ イラストマップ



4



イチョウの木に守られている



手前が十王、奥が閻魔様



閻魔様 育参り

やまだ花園

宮前区平3丁目10-13
URL: <http://yamada-kaen.blogspot.com/>

やまだ花園の山田佳一朗さんにお聞きしました

やまだ花園では、いちじくを育てていて、いちじくがたくさんなっていました。いちじくは、日に当たらないと色がつかないそうです。印象に残ったのは、葉っぱからあまみにおいがしたことです。(なのは)

今じき(8月)は、花が少なくて、いちじく、なす、ねぎなどのやさいを育てているそうです。10月は、花がたくさん咲くそうで、花を育てているビニールハウスの中は花いっぱいカーペットみたいになるそうです。(かれん)

やまだ花園には、畑とビニールハウスがありました。畑には夏野菜やいちじくが育ててあります。山田さんは、いちじくを「いちもんじじたて」という方法で育てています。いちじくには、カミキリムシが葉っぱを食べにくるそうです。葉っぱたんというキャベツに似た植物もありました。ビニールハウスは、春や冬には花でいっぱいになるそうです。(りゅうた)

山田さんは、いちじくを育て始めて8年だそうです。いちじくを「いちもんじじたて」という方法で育てているそうです。「いちもんじじたて」だと、どのいちじくにもおなじように日が当たるのでよいそうです。山田さんの本業がデザイナーだということもおどろきました。(ももか)



いちじくの前で



どの葉にも同じように日光が当たるようにしている



とりたてのいちじく



一文字仕立て(いちもんじじたて)

取材：2022年7月 <https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>



矢澤水耕農園

宮前区初山2丁目6-9
URL: <https://www.sorotobutomato.jp/>

矢澤水耕農園の矢澤舜さんにお聞きしました

矢澤さんは350年いじょうつづいている農家さんです。中玉トマトのフルティカが一番人気があるそうです。土を使わずに育てています。トマトを4000本を育てているのはすごいいいと思いました。(さえ)

トマトは土を使わず、肥料が入っている水を使って育てています。トマトを育てる時には、トマトに良い環境を作っています。大玉と中玉は赤ときいろ。小玉は赤、きいろ、むらさきがあります。冬は温かく、夏は冷たくしているそうです。(あらた)

矢澤水耕農園では17代目の矢澤しゅんさんがトマトを育てています。トマトの名前はそらとぶとまとです。350年続いているそうです。(ゆうせい)

トマトを育てるときは水耕だから水にひりょうをとかしています。ハウス内はミストでかんきょうせいびをしているそうです。パソコンでトマトに合った温度を管理して、トマトがそだちやすい温度をつくっています。9月にええ植えをして11月から8か月間ずっとしゅうかくをしているそうです。(りっか)

やざわさんは350年以上つづく農家さんです。4000本ぐらゐのトマトをハウスで育てています。トマトをそだてるため大事なおんどちようせいです。ハウスでは、きりを出してしつどを調整したりしています。(しおり)



直売所もあります



そらとぶとまと



大きなトマトハウス



水耕栽培の様子

取材：2022年7月 <https://miyamae-asobi.jimdofree.com/>

